

弥山遭難(2012年12月)

12月23日、低山で行方不明となった女性の捜索は2日間を要した。発見場所は、下山予定場所とは全く方向が違った場所だった。



解説

予定の下山ルートとは正反対の方向へ進んでしまった。
なぜ、弥山と駒ヶ林のコルから南に向かったのだろうか？
なぜ、奥の院から更に南の尾根を登ったのだろうか？大聖院に行くとするれば、下り道しかないはずだが？
なぜ、2日後に発見されたのだろうか？道に迷ってどうにもならなくなり、じっとしていたのだろうか？
携帯電話は繋がらなかったのだろうか？

遭難者を責めるつもりは、全くない。これが、道迷いなのだ。冷静さを失い、自分がどうしてよいのか分からなくなってしまう。助けて！悲痛な叫び声が聞こえてくる。

日帰りの里山でも携帯電話や防寒着、ヘッドランプ、食料、カッパ、ツェルト等必要な装備を持って登山を楽しんで欲しい。